

[機構について](#) > [情報提供活動](#) > [動画で見る企業事例「企業未来！チャレンジ21」](#) > [2004年放送分](#) > 8月21日放送分 “晴れのち曇り”のむこう側～気象予報会社の目指すものとは？～

8月21日放送分 “晴れのち曇り”のむこう側～気象予報会社の目指すものとは？～

21日放送 (TX・TVO・TSC)

22日放送 (TVH・OX・TVA・RCC・TVQ・OTV)

23日放送 (BSJ)

【企業レポート】平成元年、規制緩和により民間企業の気象予報業務への進出が許可された。千葉県のウェザーサービス株式会社(資本金3,450万円、従業員数7名)は、気象予報士の資格をもつ社長が、気象ビジネスに可能性を感じて設立した会社。大手通信・情報関連企業と連携し、インターネットやiモードで詳細な気象情報を提供するほか、最近ではスギ花粉情報の提供サービスを開始。ITと気象情報の融合化を目指し、独自の情報コンテンツビジネスを展開する同社の経営戦略を紹介する。

ビジネス・ホット情報 中小企業の退職金を国がサポート！

“晴れのち曇り”のむこう側 ～気象予報会社の目指すものとは？～

[視聴覚教材No. TV16-21](#)

[動画配信中\(新規ウィンドウ\)](#)

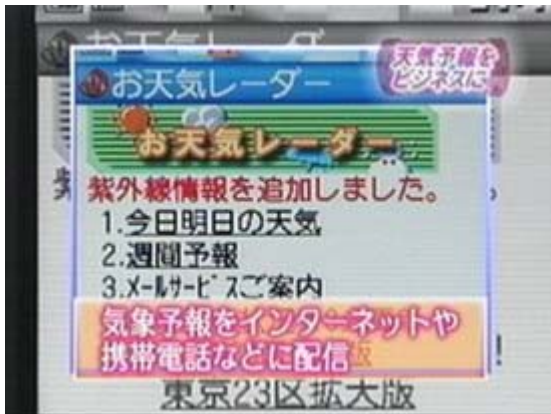


志垣さんがやってきたのは、千葉県成田市にあるお天気情報サービスの会社。こちらがウェザー・サービス(株)の横田社長。

社長自身、気象予報士の資格を持っている。大学時代、気象と関係の深い物理学を学んでいた社長は天気には詳しくはなかったが、長年コンピュータソフト会社に勤めていたことも役に立っているという。

POINT: 気象の知識とコンピュータソフトを

活用



インターネットや携帯電話への天気予報の配信が主な業務。「天気は住む場所だけ判っても意味がない。自分が知りたい場所の天気が判ってはじめて意味がある。」と横田社長。テーマパークなど詳細な予報を必要とする企業もお得意様。

POINT: 知りたい場所のより詳細な予報



「これが強み。」と社長が見せてくれたのは、ずらりと並んだコンピュータ。気象庁から送られてくるデータを元に独自の予報を出し、利用者に提供する。



「国際気象通報式」は気象庁から情報をどう送るかが細かに書かれたもの。気象庁からのデータを解析するには、コンピュータプログラムが不可欠。

横田社長は新しいスタイルの気象予報会社を目指した。社長以外の6名の社員のうち、気象の専門家はたった一人。これは天気の話よりもプログラマーとしての能力を重視した結果だ。



コンピュータが得意な人材を集めることで、少人数でも大きな会社と対等に渡り合えるというのが社長の作戦。

見晴らしの良い会社の屋上に百葉箱や紫外線センサーなどを設置し、独自の気象情報を集める。紫外線量が多い時にはどうすべきかなども提案。きめ細やかさで他社に差をつける。

POINT:

- 独自の気象データを集める
- 気象情報をもとに具体的な提案



屋上に出ていると、突然雨が。社内に戻り、さっそく調べる。「これは小さな雨雲。長くは降らない。」と社長。

あんなに降っていた雨はすぐに止んだ。予報は的中。お見事！



花粉情報サービスは去年から開始した事業。NTTが開発した精密な花粉センサーをもとにスギ花粉の飛散量を予測。花粉症患者に好評だった。

「花粉センサーは環境担当のグループが開発した。必要とするお客様に適した情報を届けるには、情報を仕分するセンスが要ると思った。」とNTTとウェザーサービスの橋渡しをした澤田氏は話す。



気象情報をベースに、もう一步踏み込んだアドバイス、リコメンテーションをやりたい。そこにはマーケットが存在する。そのために花粉・紫外線・雷と幅広く展開したい。」と横田社長は抱負を語った。

[利用規約](#) [法的事項](#) [プライバシーポリシー](#)

Copyright©2007 Organization for Small & Medium Enterprises and Regional Innovation, JAPAN